

「やまがた21人財バンク」活用企業

チャレンジ がんばる企業 CHALLENGE!!

■プレファクト株式会社 (東根市)

■所在地：東根市野川2552
■TEL：0237-41-4730
■URL：http://www.prefact.co.jp/



(左) 営業開発 安永 智也氏 (右) 代表取締役 白田 良晴氏

別業種からの人材との出会い。 相乗効果でさらなる飛躍。

工場で使われるガイドレールや精密測定器、機械部品の特注軸受けなどを製造する東根市のプレファクト株式会社。設計からマシンング、熱処理、研削加工まで社内で一貫生産できる体制を持ち、その技術力には定評がある。また、リニアガイドやボールねじなどの直動機器で世界2位のシェアを誇り、台湾に本社を構える、HIWIN社の製品の物流拠点・二次加工工場、代理店を担っている。これは東北では当社のみ。この新規事業立ち上げに伴い、やまがた21人財バンク(以下「人財バンク」と略)を利用し、2016年11月に広島県出身の安永智也氏を採用した。

「HIWIN社製品の取り扱いについては、2年前から立ち上げ、実働は1年ちょっとです。その立ち上げに伴い、営業、開発の人員を探していた。人財バンクを利用しました。人財バンクに登録されている求職者は、目的がはっきりしていますので、マッチングもしやすいように思います。今回採用した安永も、前職で営業を長くしてきたことに加え計数管理の経験もあり、災害復旧支援を担うNPO法人での勤務経験もあるという点で、新規事業立ち上げには最適



▲東北で導入されているのは珍しい、全長4メートルのマシニングセンタなどを有する工場。

く地方創生のために山形県でもリターン促進の取り組みをしているだろうと探したところ、「やまがた21人財バンク」の存在を知りました。転職サイトには載っていない求人も多く便利でした。人財バンクの担当者から連絡があり、面接を進めていく形だったんですが、自分のスキルが、製造業に活かされるという発想がなかったたので、声をかけていただきありがたかったです。」

実際に面接をし、会社や社長の雰囲気について「すごくあたたかみを感じた」という安永さん。と同時に、「ビジネスとしての面白みにも気付いたという。」

「NPO法人で働いているときに、ロボット分野に興味を持ちました。というのも、少子高齢化問題の解決策の一つとして、機械の自動化が必要ではないかと、漠然と考えていたからです。プレファクトが機械の自動化の部品を作っているというところを知

な人材だったと思います」と白田社長は振り返る。

採用された安永氏は、結婚を機に奥さんの実家がある山形県へのリターン転職を考え、やまがた21人財バンクに登録をする。安永さんに、転職当時の話を伺った。

「人財バンクの求職者に求めるものは、社会人としての基礎ができていて即戦力です。採用後の人材育成も課題ではありませんが、当社では、週一回の勉強会を開催し、社員で共有しています。社内試験も行い、理解力を図っています」と白田社長。

最後に今後の展望について、白田社長に伺った。「特注品については、日本全国から受注をいただけるようになりました。大変ありがたいことです。それと同時に、HIWIN社製品を取り扱うことで、自社の特注品とHIWIN社製品それぞれの受注において、相乗効果が広がっていくと考えています。別業種で活躍してきた安永にも頑張ってもらって、どんどん営業先を開拓して、事業を拡大していければ。」



▲HIWIN社製品。中に仕込まれたボールにより1/10ほどの力で動かすことができます。

別業種からの人材を採用し、社員同士の相乗効果も期待できる。プレファクト、そして広島から山形へ越した青年の夢はますます広がっていく。